

令和2年度 千葉県産米需要拡大推進功績者

(販売業者及び消費者団体、栄養・生活改善関係)

氏名及び名称	主な推薦理由	推薦者
<small>みやよし まさあき</small> 宮吉 正明 (有限会社宮吉商店) <千葉市中央区>	明治40年に米問屋として創業し、昭和28年に法人化し営業の拡大に成功した有限会社宮吉商店において、米の消費拡大活動のほか、地元小学生との田植活動、自治体での祭り等に参加し、消費者との親睦を深め、米の供給に積極的に努めている。また、千葉県食糧販売事業協同組合理事長、千葉中央米穀株式会社専務理事といった経歴を有しており、米の消費拡大等に尽力している。千葉県米穀小売商業組合においても、理事、総代と歴任し、組合事業にも多数参加しており、その功績は顕著である。	千葉県米穀小売商業組合理事長
<small>なかむら のりこ</small> 中村 典子 (公益社団法人千葉県栄養士会) <千葉市美浜区>	ご飯を主食とした一汁三菜のメニューを中心に米の需要拡大を図る食育・健康料理教室の開催にあたり、長年、開催地選定のほか、県産米や野菜をたっぷり摂取するためのレシピ作成等を中心的な立場で行っている。 また、老人ホームにおいては、介護予防やフレイル予防など健康に繋がる食事のあり方、ご飯のおいしさを伝え、食べることの楽しさを通して炭水化物摂取の重要性を理解してもらう指導を行っている。 以上の活動や米需要拡大への貢献、常にご飯を主食としたレシピ開発を進めるなど、千葉県産米の需要拡大に寄与した功績は顕著である。	公益社団法人千葉県栄養士会会長